

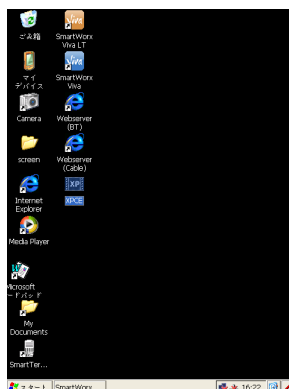
## CS10 による WLAN 設定手順

### SmartWorx Viva の終了

「Fn キー」を押した後、「終了」を押して、SmartWorx Viva を終了します。



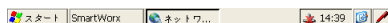
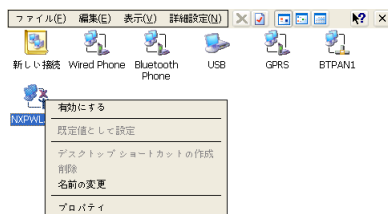
### Windows CE 画面の表示



### WLAN モジュールを有効化

スタートメニュー⇒設定からネットワークとダイヤルアップ接続画面を開き、NXPWLAN1 を有効にします。

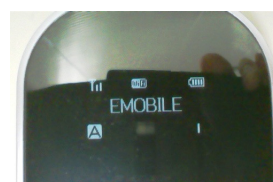
NXPWLAN1 のアイコンが右の状態になっていることを確認できたら、右上の×をクリックしてネットワークとダイヤルアップ接続画面を閉じます。



### WLAN ルーター (WiFi など) の起動

WLAN ルーターを起動にします。

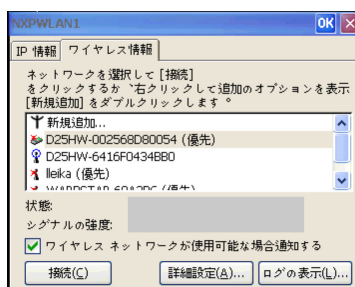
(弊社では EMOBILE 様の D25HW 及び、KDDI 様の Aterm WM3300R について動作確認済みです)



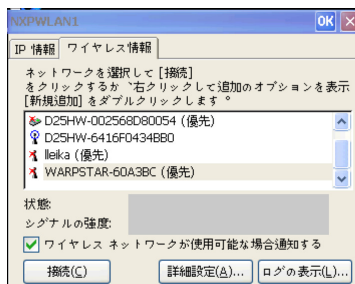
## WLAN ルーターとの接続設定

CS10コントローラーが WLAN ルーターを認識すると Windows CE 上の NXPWLAN ワイヤレス情報欄に WLAN ルーターの SSID が表示されます。

(EMOBILE D25HW を認識)



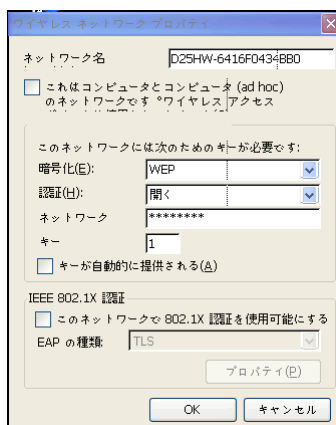
(KDDI Aterm WM3300R を認識)



WLAN 接続設定する WLAN ルーターを選択し、スタイルペンでダブルクリックします。

(Emobile D25HW の設定)

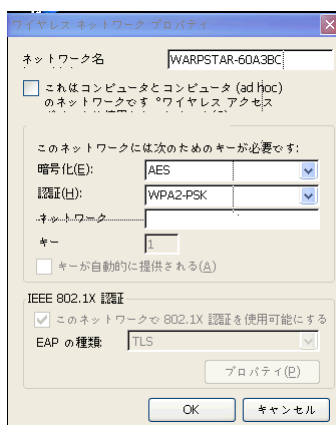
- 「これはコンピュータとコンピュータ(adhoc)のネットワークです...」:チェックマークを入れません
- 暗号化(E): WEP
- 認証(H): 開く
- ネットワーク: WEP キーを入力します
- 「キーが自動的に提供される」:チェックマークを入れません



(KDDI Aterm WM3300R の設定)

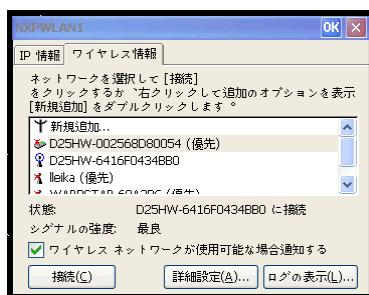
- 「これはコンピュータとコンピュータ(adhoc)のネットワークです...」:チェックマークを入れません
- 暗号化(E): AES
- 認証(H): WPA2-PSK
- ネットワーク: 暗号化キーを入力します
- 「キーが自動的に提供される」:チェックマークを入れません

上記項目の入力後、OK をクリックします。



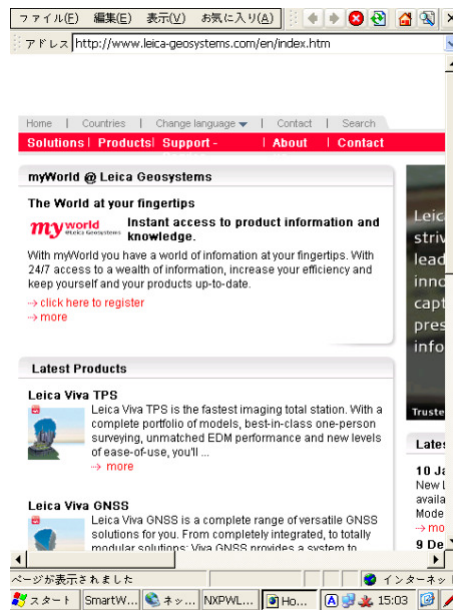
NXPWLAN ワイヤレス情報画面に戻ります。

状態: (WLAN ルータの名称)に接続  
シグナルの強度: 最良または、良  
と表示されていることを確認してください。



## WLANによるインターネット接続の確認

Windows CE上のインターネットエクスプローラを使用して、インターネット接続されているか否かを確認します。

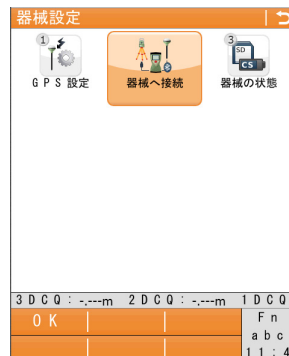


## NTripによるVRS観測の設定

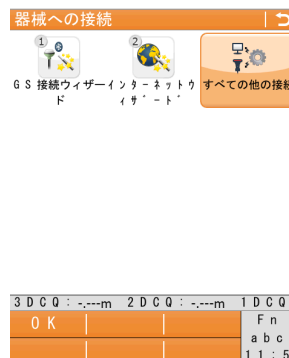
Windows CE上でSmartWorx Vivaを起動し、メインメニューから器械設定を選択します。



器械設定メニューから「器械へ接続」を選択します。



器械への接続メニューから「その他の接続」を選択します。



その他の接続メニューで右図の通り設定します。  
 CS インターネットについては何も設定しません。  
 以下、RTK 移動局の設定について説明します。

その他の接続		
接続	ポート	デバイス
CSインターネット	-	-
GPS移動局	Bluetooth	GS08
RTK移動局	CSインターネット	インターネット
GPS隠れた測点	-	-

RTK 移動局にカーソルを合わせて「編集」を押します。  
 一般ページを右図のとおり設定します。

3 D C 0 : - : - : - m 2 D C 0 : - : - : - m 1 D C 0 :		
OK	編集	F n
制御		a b c
		1 3 : 4 1

RTK 移動局設定		
一般	RTK 固定局	RTK ネットワ
<input checked="" type="checkbox"/> RTK データの受信		
接続方法:		
CS インターネット 1		
RTK デバイス:		
インターネット		
RTK データフォーマット:		
RTCM v3		
<input type="checkbox"/> 自動座標システムを使用		
OK		F n
		a b c
	ページ	1 3 : 3 5

RTK ネットワークページで「RTK ネットワークを使用」にチェックマークを入れて、使用する RTK ネットワークを選択します。  
 OK を押して、その他の接続画面に戻ります。

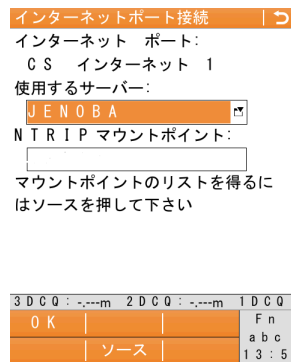
RTK 移動局設定		
RTK ネットワーク	アドバンス	
<input checked="" type="checkbox"/> RTK ネットワークを使用		
ネットワーク種別:		
VRS		
<input type="checkbox"/> ユーザー I D 送信		
OK		F n
G G A	ページ	a b c
		1 3 : 3 6

RTK 移動局にカーソルを合わせて、「制御」を押します。

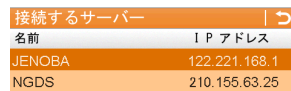
その他の接続		
接続	ポート	デバイス
CSインターネット	-	-
GPS移動局	Bluetooth	GS08
RTK移動局	CSインターネット	インターネット
GPS隠れた測点	-	-

3 D C 0 : - : - : - m 2 D C 0 : - : - : - m 1 D C 0 :		
OK	編集	F n
制御		a b c
		1 3 : 4 1

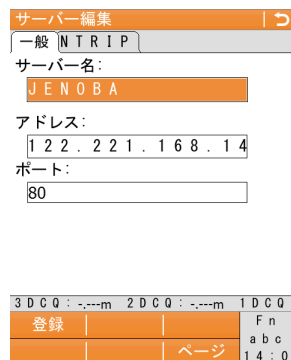
インターネットポート接続画面で使用するサーバーの右側のプルダウンメニューをクリックします。



接続するサーバー画面で、NTrip 接続するサーバーにカーソルを合わせて「編集」を押します。



サーバー編集画面の一般ページでアドレスとポートを設定します。



NTrip ページでユーザーID とパスワードを入力し、登録を押します。



OKを押します。

接続するサーバー	
名前	IP アドレス
JENOBA	122.221.168.1
NGDS	210.155.63.25

3DCQ	2DCQ	1DCQ
OK	新規	編集
削除	詳細	

ソースを押してMポイント一覧を表示します。

インターネットポート接続

インターネット ポート:  
CS インターネット 1

使用するサーバー:  
JENOBA

NTRIP マウントポイント:  
[ ]

マウントポイントのリストを得るにはソースを押して下さい

3DCQ	2DCQ	1DCQ
OK		Fn
	ソース	abc

JENOBA の場合には「JVR30」を、  
NGDS の場合には「VRS RTCM30」を選択します。

NTRIP ソーステーブル

マウントポイント	フラグ値
DRS 1	DRS 1
DRS 2	DRS 2
expDA	expDA
expGB	expGB
expGR	expGR
expR03	expR03
expR04	expR04
JVR23	JVR23
JVR30	JVR30
exp11	exp11
exp12	exp12

3DCQ	2DCQ	1DCQ
OK		Fn
	詳細	abc

マウントポイントが設定されたら「OK」を押します。

インターネットポート接続

インターネット ポート:  
CS インターネット 1

使用するサーバー:  
JENOBA

NTRIP マウントポイント:  
JVR30

マウントポイントのリストを得るにはソースを押して下さい

3DCQ	2DCQ	1DCQ
OK		Fn
	ソース	abc

再度、OKを押して下さい。

その他の接続		
接続	ポート	デバイス
CSインターネット	-	-
GPS移動局	Bluetooth	GS08
RTK移動局	CSインターネット	インターネット
GPS隠れた測点	-	-

3 D C 0 : - : - : - m	2 D C 0 : - : - : - m	1 D C 0 :
OK	編集	F n a b c
制御		1 3 : 4 1

これでWLANによるNtripの設定は完了です。

ジョブ: Bunkyo0111

- 1 測定プログラム  
測定、杭打ち、  
交点計算...
- 2 ジョブとデータ  
ジョブ管理  
データ編集、入出力
- 3 器械設定  
測定の設定  
器械の接続状態
- 4 ユーザー  
詳細設定  
システム情報等

SmartWorkView LT

3 D C 0 : - : - : - m	2 D C 0 : - : - : - m	1 D C 0 :
OK		F n a b c
		1 4 : 3 0